

# カーペットのお手入れ

前号ではカーペットの選び方やコーディネート術などカーペットについての豆知識をいくつかご紹介しましたが、今回はいつも素敵に、快適に過ごしていただくために大切なお手入れ方法やシミ抜きについてご紹介します。

## まめな「掃除機かけ」が基本

カーペットをいつまでも美しく、衛生的に保つには、最低でも週に1～2回は掃除機をかけることが基本です。できればナイロンのブラシ等で撫でるようにして毛並みを起こしてから、同じく毛並みに逆らい、1カ所を何度か往復させてかけるのがポイント。特に**新しいカーペットの場合には「遊び毛」が出てくる**ので、しばらくはよりこまめな掃除が必要です。掃除機で取りきれなかった髪の毛などは、亀の子たわしやヘアブラシで表面を撫でると簡単に取ることができます。そして、**1カ月に1回くらいは拭き掃除**をしましょう(図1)。第194号「お部屋にやさしい掃除のスズメ」でご紹介したベーキングソーダ(重曹)を使う方法もおススメですよ(図2)。

### 普段のお手入れ 1 (図1)

- 1 パケツ1杯のぬるま湯にキャップ1～2杯の家庭用中性洗剤を溶かす。
- 2 雑巾を堅めに絞り、毛並みの方向に沿って少し強く拭く。
- 3 ぬるま湯で2度拭きする。
- 4 風通しを良くしてよく乾かす。



毛並み



図1

### 普段のお手入れ 2 (図2)

- 1 ブラシで毛並みを立たせ、重曹をまんべんなくカーペットに振りまく。
- 2 3時間～半日ほどそのまま放置する。(おでかけ前などが最適)
- 3 毛並みを立てるようにていねいに掃除機をかけ、重曹を吸い取る。
- 4 ざらざらした感じが残るようなら、固く絞った雑巾でひと拭きする。



※重曹は食品に使うものだから多少吸い残しがあっても大丈夫。消臭効果があるので掃除機の中のイヤな臭いも取れますよ。

## 家庭用洗剤を使ったシミ取り法

カーペットのシミには大きく分けて、ジュースやコーヒー、醤油などの「**水溶性のシミ**」と、油や口紅、マジックなどの「**油性のシミ**」があります。何の汚れか分からないときは、湿ったタオルでそのシミを軽くこすってみます。タオルに汚れが移れば「水溶性」、移らなければ「油性」です。いずれにしてもシミを発見したら、できるだけ早く処置をすることが肝心です(図3)。

### シミ取り法 (図3)

#### 用意するもの(共通)

- やや大きめのブラシ
- スプレー容器2個
- 家庭用中性洗剤(スプレーに入れる)  
※水性シミ取り用洗剤があればなお良い。
- 水(スプレーに入れる)
- 乾いたタオル1～2枚
- 濡れたタオル1～2枚



#### 水溶性のシミ ……………

- 1 濡れタオルでシミを外側から軽くこすり、汚れを移し取る。
- 2 家庭用中性洗剤をシミの外側から内側に向かってスプレーする。
- 3 濡れタオルでシミを外側から軽くこすり、汚れを移し取る。
- 4 水をスプレーし、③と同じ要領で残った汚れを移し取る。
- 5 ブラシで毛並みを起こし、よく乾かす。

#### 油性のシミ ……………

#### 用意するもの

- 油性シミ取り洗剤(除光液やベンジンで代用可)
- 歯ブラシ



- 1 歯ブラシに油性シミ取り洗剤をつけ、シミの外側から内側に向けて塗る。
- 2 乾いたタオルの上に置いて、ブラシで細かく叩きシミを移し取る。(タオルをずらして何度か繰り返す)
- 3 家庭用中性洗剤をスプレーし、②と同じ要領でシミを移し取る。
- 4 水をスプレーし、③と同じ要領で残った汚れを移し取る。
- 5 ブラシで毛並みを起こし、よく乾かす。